



亀中だより

No.46 令和3年度最終号

令和4年3月23日 文責:岡田



3月4日、亀中では素晴らしい卒業式が行われたあの日に、北京冬季パラリンピックが開会されました。46の国と地域から約560人が参加する雪と氷の障がい者スポーツの祭典。それはオリンピックと同じく世界の「平和の象徴」「平和の祭典」でなければなりません。

開会式において、国際パラリンピック委員会 (IPC) のパーソンズ会長はあいさつに立ち、「今夜はまず平和のメッセージから始めないといけない。共生を中核とし、多様性を受け入れる組織のリーダーとして、今、世界で起こっていることに強い衝撃を受けている。21世紀は対話と外交の時代のはず。戦争と憎しみの時代ではない」と世界の平和を強く訴えました。

PEACE!



みなさんはロシア・ウクライナ情勢をご存じでしょうか。2年生は平和学習で学んでいますよね。世界中の誰もがみんな知る必要があることです。今、世界の平和がおびやかされているのです。我々もみんな、この出来事に関心を持ち、平和を守る一人とならなければなりません。

パーソンズ会長は、「IPCではみんなが共生できる世界、差別や憎しみ、無知とは無縁の紛争のない社会を目指している」と強調。共生や多様性といったパラリンピックの精神を掲げ、「今夜パラムーブメントは世界各国の当局者に呼びかけます。アスリートたちと同様にひとつになり、平和、理解、共生を促してください。世界は共に生きる場であるべきで、分断であってはならない」と言葉に力を込め、その最後に両手を強く握りしめ、「PEACE (平和)」と叫び、締めくくりました。

令和3年度が終わろうとしています。みなさんにとってどんな一年だったでしょうか。どこの教室にもあなたたち一人ひとりのこの一年間の目標が、掲示されていました。一年前、あなたが目指した姿に今の自分になっているでしょうか…。

掲げた目標は、どれだけ達成されたか、足りなかったところがあるとすれば、それは何なのか。ふり返ってみましょう。達成できなかつたから悪いといっているのではありません。そこから見える次の自分を、はっきりとさせ、令和4年度のスタートを始めてください。一年間ご苦労様でした。